

## 通所介護事業

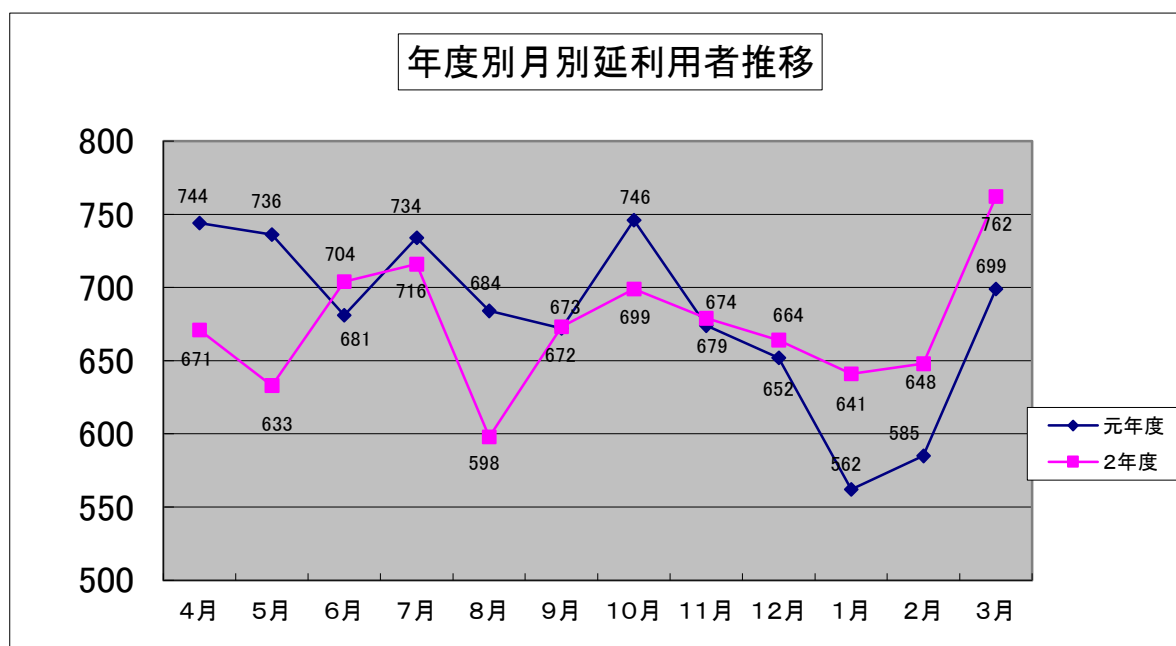
介護保険法に基づき、65歳以上の方で、要支援1以上のご利用者に対して、当センターへ通所(送迎)頂き、各種のサービスを利用されることにより生活の助長・社会的孤立の解消心身機能の向上を図ると共に、ご家族の負担減少を図っています。  
又、選択性レクリエーションを取り入れ、ご利用者のニーズに合わせた取り組みを行っております。

(1)事業開始年月日  
平成8年4月1日

(2)利用定員、営業時間等  
1日:45名以内  
月～金曜日(祝日営業)  
8時30分～17時00分(送迎時間含む)

(3)令和2年度月別利用状況

	利用者実数	利用者延数	平均利用者数	営業日数
4月	82	671	30.5	22
5月	82	633	30.1	21
6月	91	704	32.0	22
7月	89	716	31.1	23
8月	88	598	28.5	21
9月	87	673	30.6	22
10月	89	699	31.8	22
11月	93	679	32.3	21
12月	94	664	31.6	21
1月	94	641	32.1	20
2月	94	648	32.4	20
3月	98	762	33.1	23
合計	1,081	8,088	31.3	258



## 宇陀市短期集中型通所Cサービス

宇陀市在中の方で、生活機能評価(基本チェックリスト)により事業の対象となった方が、おおむね3ヶ月間、もしくは6ヶ月間で運動・栄養・口腔等の要素を組み合わせたプログラムを集中的に提供することにより、利用者が生活機能を向上させ、地域資源を活用した健康づくりや介護予防に取り組むことができるようにします。

(1) 事業開始年月日

平成30年10月24日

(2) 利用定員、営業時間等

1回:20名

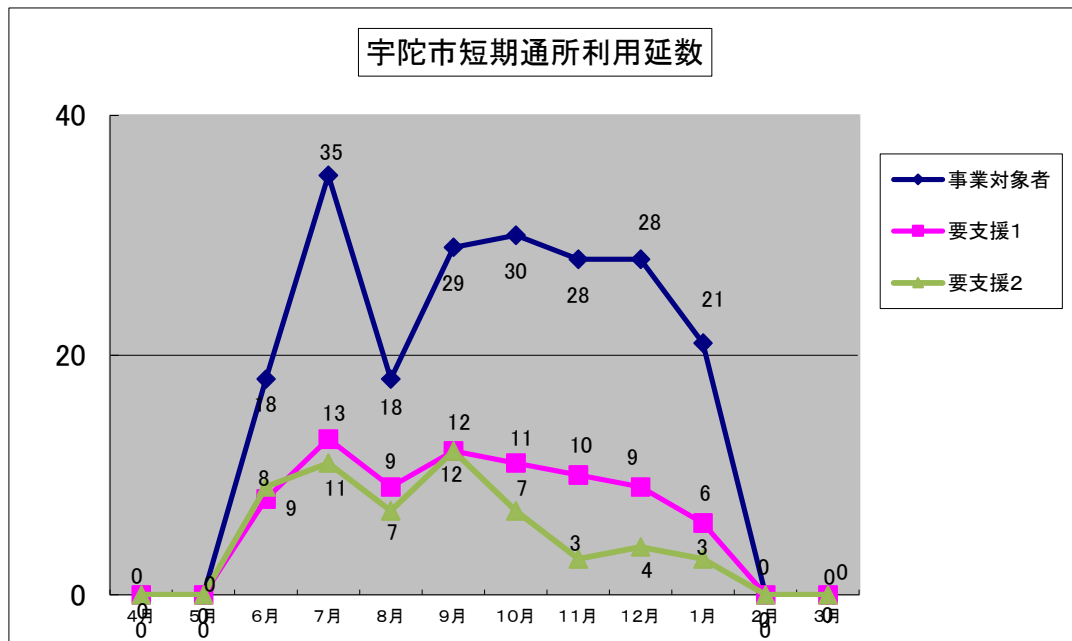
水曜日(祝日営業)

9時30分～12時00分(送迎時間除く)

13時30分～16時00分(送迎時間除く)

(3) 令和2年度月別利用状況

	利用者実数	利用者延べ人数		
		事業対象者	要支援1	要支援2
4月	0	0	0	0
5月	0	0	0	0
6月	13	18	8	9
7月	14	35	13	11
8月	13	18	9	7
9月	14	29	12	12
10月	13	30	11	7
11月	12	28	10	3
12月	11	28	9	4
1月	12	21	6	3
2月	0	0	0	0
3月	0	0	0	0
合計	102	207	78	56



#### (4) 年間目標・評価

##### 令和2年度 通所介護年間目標

- 1 ご利用者様の自信を回復し、生活の主体性を発揮できる生活機能低下予防サービスを提供する
  - 生活機能の向上を目的としたアクティビティプログラム・趣味活動プログラム・脳活プログラムを100種類用意する
  - ご利用者様の作品を活用した社会参加の機会を設けるプロジェクトを実施する
  - ご利用者様の目標・目的に沿った機能訓練プログラムを実施する
- 2 関係機関との連携を深め、地域における課題解決に向けた活動をすすめる
  - ご家族様やサービス関係者らのご利用者様と一緒に楽しめる社会参加・活動の場を設ける
  - サービスの魅力を伝えるツールを作成し、見学・体験利用を促進する
  - 保険外サービスの実施について検討し、サービスの利便性を高める
  - 宇陀けあネットを活用し、関係機関との情報共有をすすめる
- 3 サービスの生産性と働き甲斐の向上を図る
  - 職員それぞれの強みを活かした目標管理を実施する
  - 定年まで安心して働ける環境づくりの検討をすすめる

##### 【年間目標に対する評価】

自宅での様子をご利用者様にアンケートで回答いただき、アセスメント情報と合わせ、ニーズを探り、身体能力別にグループ分けを実施。2クラス用意することで、自分に合った好みの運動プログラムを選択でき、自ら積極的に生活機能低下予防に取り組んでいただくことができた。

宇陀けあネットを活用することにより、ご利用者様の気になる訴えや体調、ADLの変化等を画像も活用し、複数の事業所、特に医療・看護との情報共有を行うことができた。

コロナウイルスの蔓延により、日常生活での外出の機会やこれまで実施されていた地域のサロン等への参加が困難になったことから、活動の場をデイサービスに求める流れが見られたことから利用登録者数、平均利用者数を僅かながら改善できたが、目標達成には届かなかった。

今回新設された加算や既存の加算の上位区分を積極的に算定していくことで収益をあげることが必要である。そのための取り組みとして記録、計画作成などの業務負担の軽減を図りながら効率的に実施していく方法を検討していかなければならない。今後も自施設サービスの強みを明確にし、他事業所との差別化を図ることで集客力を高め、数値目標達成に向けて課題改善に取り組む。

##### 令和3年度 通所介護年間目標

- 1 サービスの生産性と働き甲斐の向上を図る
  - 職員それぞれの強みを活かした成長できる職場環境を作る
  - 専門性が発揮できるよう多様な人材の活用、業務の整理を図り、間接業務の削減を図る(効率的な運営の実現)
- 2 ご利用者様の自信を回復し、生活の主体性を発揮できる生活機能低下予防サービスを提供する
  - 機能訓練、口腔、栄養と一体的なサービスの実施をすすめ、上位区分の加算算定を実施する
  - ご利用者様ごとに最適な目標とサービスプログラムの設定を行う。
- 3 関係機関との連携を深め、地域における課題解決に向けた活動をすすめる
  - 他事業所、医療、看護との情報共有、連携を図る
  - コロナ禍における標準予防策の強化をすすめる